

機械器具(21) 内臓機能検査用器具
一般医療機器 単回使用パルスオキシメータプローブ 31658000

CJM ディスポーザブル SpO₂ センサ

再使用禁止

【禁忌・禁止】**

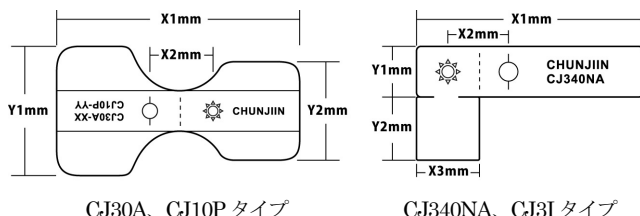
＜使用方法＞

再使用禁止。複数の患者に使用しないこと。

＜併用医療機器＞ 「相互作用の項参照」

- 1) MRI 検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。[MR 装置への吸着や、火傷等のおそれがあるため。]
- 2) 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。[誤作動や破損、爆発のおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】**



CJ30A、CJ10P タイプ

CJ340NA、CJ3I タイプ

テープサイズ	X1	X2	X3	Y1	Y2
CJ30A	100	25		60	45
CJ10P	80	20		42	32
CJ340NA	110	25	25	16	16
CJ3I	62	20	20	16	16

型 式	推奨装着部位	適用患者体重（目安）
CJ30A	大人手指用	30kg 以上
CJ340NA	新生児足・大人指用	3kg 以下・40kg 以上
CJ3I	乳児足指・小児手指用	3kg 以上・20kg 以下
CJ10P	小児手指用	10kg 以上・50kg 以下
CJ30A-NK	大人手指用	30kg 以上
CJ340NA-NK	新生児足・大人指用	3kg 以下・40kg 以上
CJ3I-NK	乳児足指・小児手指用	3kg 以上・20kg 以下
CJ10P-NK	小児手指用	10kg 以上・50kg 以下

※4 個入タイプは型式の後ろに「4」が付きます（CJ30A4-NK/9 等）。

ケーブル長さ：90 cm（NK タイプ）は「NK/9」：90cm、「NK/16」：160cm）

原理：本品のプローブには発光部と受光部が組み込まれており、発光部には、2 個の発光ダイオード（LED）を使用しています。測定は 2 種類の LED[赤色（波長 660nm 前後）と赤外（波長 910nm 前後）]を交互に点滅させ、この光を指先等に照射します。その透過光を受光部にあるフォトダイオードで検出し、信号を得ています。

【使用目的又は効果】

小児又は成人患者の手指、耳、鼻梁、足等の部分に使用し、皮膚を通して光を照射し、動脈組織血中のオキシヘモグロビン及びデオキシヘモグロビンによって吸収される光量を検知するために用います。

親機で信号が受信され、結果が表示されます。本品は単回使用です。

【使用方法等】

本品に添付されている取扱説明書の下記事項を参照してください。

1. センサの取り付け位置
2. センサの取り付け方法

【使用上の注意】**

＜重要な基本的注意＞

- 1) センサは少なくとも 8 時間ごとに装着部位の皮膚状態を確認のうえ、必要に応じて装着部位を変えて下さい。患者の容体や装着部位の状態によっては、皮膚障害を生じる可能性が高まるため、十分注意して下さい。（新生児、低出生体重児、意識のない患者、末梢循環不全を起こしている患者、高熱の患者等）
- 2) 以下の場合は、パルス信号を検出できない、または SpO₂/ 脈拍数の値が不正確になる可能性があります。
 - センサの装着方法が不適切
 - ・ センサと装着部位の間にガーゼ等を挟んだ場合
 - ・ センサの装着が強すぎるまたはゆるすぎる場合
 - ・ 装着部位が厚すぎるあるいは薄すぎる場合
 - 患者の状態
 - ・ 脈波が小さい場合（末梢循環不全の患者など）
 - ・ 激しい体動がある場合
 - ・ 静脈拍動がある部位で測定している場合
 - ・ 他の治療のために血液中に色素が注入されている場合
 - ・ 異常ヘモグロビンの量が多すぎる場合（COHb、MetHb）
 - ・ ヘモグロビン濃度が減少している場合（貧血）
 - ・ 装着部の色素沈着、血液付着、マニキュア等により、光の透過が妨げられている場合
 - ・ センサ装着部位の組織に変形などがある場合
 - 同時に行っている処置の影響
 - ・ 血圧測定のためにカフで加圧している手足での測定
 - ・ 血管内カテーテルが挿入されている手足での測定
 - ・ 強い光（手術灯、光線治療器、直射日光等）の当たる場所での測定
 - ・ CPR（心肺蘇生法）中の測定
 - ・ IABP（大動脈バルーンポンピング）を挿入している場合
 - ・ 2 つ以上のパルスオキシメータを装着している場合 [互いに干渉しあうため。]
- 3) センサを水や消毒剤等に付けないこと。

取扱説明書を必ずお読み下さい

<相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）>

1. 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
核磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	検査室に本品を持ち込まないこと。MRI 検査を行うときは、本品に接続されているセンサを患者から取り外すこと。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷のおそれがある。 また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。
高圧酸素患者治療装置	装置内に持ち込まないこと。	本品の誤作動や破損及び経時的な劣化を来すおそれがある。また、爆発の誘因となるおそれがある。

2. 併用注意（併用に注意すること）

- 1) 血管拡張作用のある薬剤：脈波形状が変化し、SpO2 測定値を正確に表示しないおそれがあります。
- 2) Photo Dynamic Therapy（光線力学療法）：センサの照射光（波長）により薬剤が影響し、センサ装着部付近の組織に熱傷を生じるおそれがあります。
- 3) 除細動器：除細動を行う際は、患者及び患者に接続されている本品には触れないこと。[放電エネルギーにより電撃を受けるおそれがあります。]
- 4) 電気手術器（電気メス）：電気メスのノイズにより SpO2 が正しく測定できないおそれがあります。

<不具合・有害事象>

- 1) 不具合
動作不良、故障、モニタ不良、アーチファクト、破損、誤計測
- 2) 有害事象
火傷（熱傷）、痛み、アレルギー反応、皮膚炎、かゆみ、かぶれ、血行障害

<その他の注意>

在宅において使用する場合は、医師、医療従事者、及びその指示を受け使用方法の説明を受けた者が使用して下さい。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて保管して下さい。

<使用期限>

製造日より3年 [自己認証（自社データ）により設定]。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：株式会社メッツ

TEL：03-3888-8445

製造業者・国名：

Chun Ji In Medical・Korea

チュンジインメディカル・大韓民国